

地域密着型金融の取り組みについて(平成22年度)

項目	動機(経緯)	取組み内容	評価・今後の課題																																																																																														
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化																																																																																																	
経営改善支援	<p>債務者区分のランクアップを目的としたコンサルティング機能を発揮させるため、モニタリングや改善可能性の分析等を行い、条件緩和等の支援を実施しました。</p> <p>なお、経営改善支援の取組実績は、以下のとおりです。</p>	<p>自己査定における要注意先および破綻懸念先の全事業所について資産査定資料を基に一先毎の検証を行い、その結果を基に営業店長との協議により支援先を選定しました。選定先について企業支援課との連携による支援先と営業店主体の支援先を決定し、債務者毎に具体的取組み方針を協議し支援に取組みました。</p>	<p>[評価] 支援先として122先を選定し取組み、改善計画書作成先38先、ランクアップ先10先、ランクダウン1先、ランクアップ率8.2%でありました。</p> <p>また、経営改善支援先面談フォローカードにより、支援先の改善ポイントへの取組状況を通じ取組方針・課題等の共通認識が図られ、支援先への改善支援の精度が向上しました。</p> <p>[今後の課題] 経営改善を通じた正常化への進捗状況のモニタリング支援が課題です。</p>																																																																																														
<p>【22年4月～23年3月】 (単位:先数) (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">期初 債務者数</th> <th colspan="4">うち</th> <th rowspan="2">経営改善 支援取組 み率</th> <th rowspan="2">ランクアップ 率</th> <th rowspan="2">再生計画 策定率</th> </tr> <tr> <th>経営改善支 援取組み先 数</th> <th>αのうち再生 計画を決定し た先数</th> <th>αのうち懸念 に債務者区分 がランクアップ した先数</th> <th>αのうち再生 計画を決定し た先数</th> </tr> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>α</th> <th>β</th> <th>γ</th> <th>δ</th> <th>α/A</th> <th>β/α</th> <th>δ/α</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正常先 ①</td> <td>1,507</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0.1%</td> <td></td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>要注意先 うちその他 要注意先 ②</td> <td>244</td> <td>102</td> <td>7</td> <td>95</td> <td>32</td> <td>41.8%</td> <td>6.9%</td> <td>31.4%</td> </tr> <tr> <td>要注意先 うち 要管理先 ③</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>破綻懸念先 ④</td> <td>46</td> <td>18</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>39.1%</td> <td>16.7%</td> <td>27.8%</td> </tr> <tr> <td>実質破綻先 ⑤</td> <td>46</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>破綻先 ⑥</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小計 (②～⑥の計)</td> <td>349</td> <td>121</td> <td>10</td> <td>111</td> <td>38</td> <td>34.7%</td> <td>8.3%</td> <td>31.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,956</td> <td>122</td> <td>10</td> <td>112</td> <td>38</td> <td>6.6%</td> <td>8.2%</td> <td>31.1%</td> </tr> </tbody> </table>					期初 債務者数	うち				経営改善 支援取組 み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率	経営改善支 援取組み先 数	αのうち再生 計画を決定し た先数	αのうち懸念 に債務者区分 がランクアップ した先数	αのうち再生 計画を決定し た先数		A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α	正常先 ①	1,507	1		1	0	0.1%		0.0%	要注意先 うちその他 要注意先 ②	244	102	7	95	32	41.8%	6.9%	31.4%	要注意先 うち 要管理先 ③	1	1	0	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	破綻懸念先 ④	46	18	3	15	5	39.1%	16.7%	27.8%	実質破綻先 ⑤	46	0	0	0	0	0.0%	-	-	破綻先 ⑥	12	0	0	0	0	0.0%	-	-	小計 (②～⑥の計)	349	121	10	111	38	34.7%	8.3%	31.4%	合計	1,956	122	10	112	38	6.6%	8.2%	31.1%
	期初 債務者数	うち				経営改善 支援取組 み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率																																																																																									
		経営改善支 援取組み先 数	αのうち再生 計画を決定し た先数	αのうち懸念 に債務者区分 がランクアップ した先数	αのうち再生 計画を決定し た先数																																																																																												
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α																																																																																									
正常先 ①	1,507	1		1	0	0.1%		0.0%																																																																																									
要注意先 うちその他 要注意先 ②	244	102	7	95	32	41.8%	6.9%	31.4%																																																																																									
要注意先 うち 要管理先 ③	1	1	0	1	1	100.0%	0.0%	100.0%																																																																																									
破綻懸念先 ④	46	18	3	15	5	39.1%	16.7%	27.8%																																																																																									
実質破綻先 ⑤	46	0	0	0	0	0.0%	-	-																																																																																									
破綻先 ⑥	12	0	0	0	0	0.0%	-	-																																																																																									
小計 (②～⑥の計)	349	121	10	111	38	34.7%	8.3%	31.4%																																																																																									
合計	1,956	122	10	112	38	6.6%	8.2%	31.1%																																																																																									

項目	動機(経緯)	取組み内容	評価・今後の課題
事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
創業・新事業開拓支援	当金庫取引先が、新事業として「高齢者向け優良賃貸住宅」を建設することとなりました。	石巻市では、中小市街地活性化基本計画において、行政・福祉・商業などの都市機能が集中した中心市街地に「高齢者向け優良賃貸住宅」の促進を図ってきました。当金庫取引先が、「高齢者向け優良賃貸住宅」を建設するにあたり、地域金融機関として、当地域の抱える市街地の活性化及び高齢者住居の課題解決に資するものと判断し、他行との協調融資により資金援助いたしました。	<p>[評価] 当高齢者向け優良賃貸住宅地域は、当地域の抱える高齢者住居の課題解決の一助になったものと考えます。</p> <p>[今後の課題] 情報収集力の強化と、ノウハウの蓄積が課題です。</p>
地域の情報収集を活用した持続的な地域経済への貢献			
地域の面的再生への参画	第2回次世代ビジネスフェア開催で販売・営業支援を実施することとしました。	石巻しんきん経営塾主催により2年連続で次世代ビジネスフェアを開催しました。 ・県外の2金庫と連携し、3信用金庫連携としました。(連携金庫・山形信用金庫・花巻信用金庫) ・参加企業80社、来場者約700名となりました。 ・経営塾生以外の企業を募集し、内容を充実させました。	<p>[評価] 来場者数、商談件数、アンケート内容により、ビジネスフェア開催の目的は達成されたと考えております。</p> <p>[今後の課題] より内容を充実させて継続することが課題です。</p>
	環境保全や保護への取組みとして、環境保全活動・研修会・講演会を開催しました。	<p>(1)環境保全活動 大学・高校と連携で観光ロードや海水浴場の清掃活動を3年連続して開催しました。 金華山植樹祭に3年連続で参加、自然破壊防止活動を行いました。 「信用金庫の日」に役職員全員で本支店管内の清掃活動を行いました。</p> <p>(2)研修会 次世代経営塾生を対象に資源リサイクル工場の視察研修会を開催し、参加塾生の環境に対する取組みの強化を促しました。</p> <p>(3)講演会 環境をテーマに特別講演会を開催し、自然破壊の現状を伝えました。 テーマ ~山から見た自然環境~</p>	<p>[評価] 環境保全活動、研修会、講演会は、環境に関連したテーマで継続開催しており、清掃活動、講演会などは毎年参加者が増加、取組みが地域に浸透しております。</p> <p>[今後の課題] プロジェクト活動がマンネリにならないように、今後は新規活動の組立て等の工夫が課題です。</p>

項目	動機(経緯)	取組み内容	評価・今後の課題
	<p>金融経済セミナー、経営者研修、マネースクールを開催しました。</p>	<p>(1)大学と連携により「企業経営セミナー」を4年連続で開催しました。 テーマ「地域活性化のマーケティング：製品・ブランド・業態の開発を考える」 (2)次世代経営塾主催の研修会を5回開催しました。 第1回テーマ「経営者のビジネスマナーについて」 講師・志伯 暁子 氏 第2回テーマ「楽天流プロ野球ビジネスを学ぶ」 講師・(株)楽天野球団 東北営業部 部長 森井 誠之 氏 第3回テーマ「環境リサイクル工場の設立経緯について」 講師・JAC代表取締役 真野 孝仁氏 第4回テーマ「いかにして自分の夢を実現するか」～メジャー流人間力の作り方～ 講師・国際ビジネス&スポーツアナリスト タック川本 氏 第5回テーマ「フロンティア・スピリット」～その針路の取り方～ 講師・NOMCO&CO. 代表取締役 阿部 淳 氏 (3)第2回しんきんマネースクール開催 クイズを通してお金の大切さ、お小遣いの管理等、お金について考える機会を提供した。</p>	<p>[評価] ・企業経営セミナーは大学と連携して4年連続で開催しており、人材育成の場として、また地域の経営者研修として定着しております。 ・経営塾では、研修会の開催で企業経営を直接学ぶことができ、また参加塾生と情報交換が出来る为好評であり、継続開催の要望があります。 ・2年連続でマネースクールを開催し、小学生を対象に金融教育を実施、子供の未来教育に取組みました。</p> <p>[今後の課題] 塾生の増加に伴い塾生主導型を強化し、全員参加型の事業運営を行うことが課題です。</p>
	<p>スポーツ振興支援活動へ継続的に取組みました。</p>	<p>(1)しんきん杯少年サッカー大会 ・大会の振興支援活動は32年です ・32回大会の参加チーム 15チーム、参加者数280名 (2)石巻信金カップ中学生バスケットボール大会 ・大会の振興支援活動は15年です ・15回大会の参加チーム 24チーム、参加者数390名</p>	<p>[評価] 地域の少年スポーツ大会としての位置づけが定着、年々参加校が増加しており、地域でなくてはならない大会となっています。また、地域の青少年育成に貢献しており、サッカー、バスケットボールのレベル向上に貢献しています。</p>